

ナシ（有袋）の栽培・防除暦（令和7年版）

鹿児島県園芸振興協議会始良支部（果樹部門）

月	旬	生育相	管理作業	対象病害虫	基幹防除		1000 当たり 薬量	補完防除及び注意事項	散布日・散布量 記入欄 （基幹防除）	
					FRACコード（殺菌剤）					
					IRACコード（殺虫剤）					
冬季の基本管理			密植園の間伐・縮伐，罹病枝葉（枯れ枝）の徹底除去（園内をきれいに！），土づくり，防風垣（施設）の整備							
1		休眠期	整枝・せん定 棚付け誘引	◎胴枯病，輪紋病	トップジンMペースト （せん定整枝時及び病患部の削り取り直後）	1	原液塗布	○白紋羽病 フロンサイドSC 29 500倍 ※灌注器で樹幹から半径1m程度の範囲で数か所に灌注処理する（かぶれに注意！）	月 日 50～100 ^{1/2} g/樹	
2	下		春肥							
3	上	りん片脱落前	摘蕾	◎黒星病，赤星病	デランフロアブル	M9	1,000倍	100cc	※病害は発生する前に予防散布を徹底 ※SBI剤は，耐性菌発生の恐れがあるため連用しない（複数の薬剤をローテーション）	月 日 ^{1/2} g
		りん片脱落期		◎黒星病	ユニックス顆粒水和剤47	9	2,000倍	50g		月 日 ^{1/2} g
	下	出蕾期～ 開花直前	摘蕾 摘花	◎黒星病，赤星病	アクサ-フロアブル （SBI混）	3,7	2,000倍	50cc	○アブラムシ類 モスピラン顆粒水溶剤 4A 4,000倍 ミクロデナボン水和剤85 1A 1,000倍 【※60日前まで】	月 日 ^{1/2} g
4	上	満開期 （品種で時期前後）	人工受粉	◎黒星病，輪紋病	ベルクートフロアブル	M7	1,500倍	66cc	※黒星病の一次伝染源は落葉と芽鱗片 ※多発生ほ場は落葉のほ場外への持ち出しと，秋季防除を徹底	月 日 ^{1/2} g
	中	落花期		◎黒星病	ミギワ20フロアブル	52	4,000倍	25cc	※ミギワ20フロアブルは，開花期の散布により花卉に焼けを生じるおそれがあるので注意（他薬剤と混用は薬害の恐れあり）	月 日 ^{1/2} g
	下	展葉期～ 新梢伸長期	予備摘果	◎黒星病，赤星病 ◎アブラムシ類 ニセナシサビダニ	カナメフロアブル ハチハチフロアブル	7 21A	4,000倍 2,000倍	25cc 50cc	※ハチハチフロアブルは訪花昆虫に影響があるため，開花期後に散布	月 日 ^{1/2} g
5	上		小袋かけ	◎黒星病，赤星病	デランフロアブル 【※60日前まで】	M9	1,000倍	100cc	○アブラムシ類，ハマキムシ類，シンクイムシ類，カイガラムシ類 オリオン水和剤40 1A 1,000倍	月 日 ^{1/2} g
	中	●熟期促進（幸水・濃夏） ジベレリンペースト 果梗部塗布 20～30mg/1果		◎黒星病，輪紋病	インダーフロアブル（SBI）	3	5,000倍	20cc	○黒星病（多発時：前日までの剤） ファンタジスタ顆粒水和剤 11 3,000倍	月 日 ^{1/2} g
	下	（梅雨入り前）	仕上げ摘果	◎黒星病，輪紋病	キノンドーフロアブル	M1	1,000倍	100cc		月 日 ^{1/2} g
6	上		夏肥（新高）	◎黒星病，輪紋病 （心腐れ症）	スクレアフロアブル	11	2,000倍	50cc	※低温が続く場合は，黒星病の発生に注意	月 日 ^{1/2} g
	中	袋掛け直前	袋かけ	◎シンクイムシ類	サムコルフロアブル10	28	5,000倍	20cc	○カイガラムシ類 トランスフォームフロアブル 4C 2,000倍 （前日まで）	
	下		新梢誘引	◎黒星病，輪紋病	オキシラン水和剤	M1,M4	500倍	200g	コルト顆粒水和剤 9B 3,000倍 （前日まで）	月 日 ^{1/2} g
7	上	新梢伸長停止							○ハダニ類 スターマイトフロアブル 25A 2,000倍 （前日まで） コロマイト水和剤 6 2,000倍 （前日まで）	月 日 ^{1/2} g
	中	（梅雨明け前後）	夏季せん定	◎黒星病，輪紋病	オキシラン水和剤	M1,M4	500倍	200g	○カメムシ類（次のいずれかを散布） ロディー水和剤 3A 1,000倍 （年2回以内） アグロスリン水和剤 3A 1,000倍 （年3回以内） アクタラ顆粒水溶剤 4A 2,000倍 （年3回以内） スタークル顆粒水溶剤 4A 2,000倍 （年3回以内）	
	下		台風対策						※上記の4剤とも収穫前日まで使用可	
8	上	幸水成熟期	幸水収穫							
	中	豊水成熟期	豊水収穫							
	下									
9	上中下									
		新高成熟期	新高収穫	◎黒星病	（収穫後） オキシラン水和剤 M1,M4 500倍 又は ICボルドー48Q M1 30倍		200g 3.3kg	○カミキリムシ類 ロビンフッド（前日まで） 3A スプレー噴射	月 日 ^{1/2} g	
10	上			◎黒星病	パスポート顆粒水和剤 M5 1,000倍 又は ICボルドー48Q M1 30倍		100g 3.3kg	※パスポート顆粒水和剤を使用の際は石灰硫黄合剤との混用はさけるとともに，落葉終了以降の休眠期には使用しない。	月 日 ^{1/2} g	
	中									
	下			◎黒星病	パスポート顆粒水和剤 M5 1,000倍 又は ICボルドー48Q M1 30倍		100g 3.3kg	<黒星病防除ポイント> 収穫後の秋季防除で翌春の芽基部病斑の発生を抑制する！	月 日 ^{1/2} g	
11	上									
	中	落葉期		◎黒星病	パスポート顆粒水和剤 M5 1,000倍 又は ICボルドー48Q M1 30倍		100g 3.3kg		月 日 ^{1/2} g	
	下									
12		休眠期		◎ハダニ類及びその越冬卵，カイガラムシ	高度マシン95 UNM 20倍		5 ^{1/2} g	※次年度の感染源となる落葉後の葉の処分を行う。	月 日 ^{1/2} g	

注1)この防除暦は令和6年12月11日現在の登録内容を掲載したものです（※農薬使用時期・使用回数等については，別紙参照）

注2) 農薬登録内容が変更されている場合があるので，**農薬使用前に表示ラベルを熟読してください**

【施肥基準例】

◎幸水・豊水

みかん春ライト（13-12-9）[15kg袋]使用の場合（10a当たり）

時期	生産量2t	生産量3t	生産量4t
春肥（2月下旬～3月）	6袋	8袋	10袋
堆肥（2月下旬～3月）	完熟堆肥2t		
苦土石灰（落葉後）	100kg		

※施肥時期を春に変更したことにより成分流亡が減少することを考慮して，施肥量を削減している。樹勢が低下した場合は，防除の際に尿素500倍を加用する。

※堆肥は牛ふん堆肥の場合

◎農薬の安全使用基準を遵守するとともに，生産履歴の記帳を行いましょう！

◎新高

みかん春ライト（13-12-9）[15kg袋]使用の場合（10a当たり）

時期	生産量2t	生産量3t	生産量4t
春肥（2月下旬～3月）	5袋	7袋	9袋
夏肥（6月上旬）	1.5袋	2袋	2.5袋
堆肥（2月下旬～3月）	完熟堆肥2t		
苦土石灰（落葉後）	100kg		

◎農薬散布時は飛散防止に努めましょう！